

令和8年9月26日

横浜市立東希望が丘小学校 学校だより



東希小だより 10月号

「咲こう 輝こう マーガレットのように」

変化の時代

校長 栗田 朋子

ここ数年と比べると、今年の9月は朝晩がひんやりと過ごしやすく、秋の訪れを感じます。その一方で、雨の多い日が続き、日本列島の各地では台風やゲリラ豪雨、線状降水帯による浸水被害も発生しています。落ち着くことのない気候の変化を目の当たりにし、地球温暖化への対応が喫緊の課題であることを実感する今日この頃です。

さて、横浜市では今年度、コミットメント型の啓発手法を活用した「横浜学校あんしん・あんぜん宣言」の取組を進めています。これは、教職員・児童生徒・保護者等が共通の目標について合意形成を図り、「宣言」することで行動変容につなげることを目的としたものです。

本校では、夏季休業中に実施した不祥事防止研修の振り返りをもとに、「横浜学校あんしん・あんぜん宣言」の素案を作成しました。小学1年生でも見たり聞いたりして理解できるよう、わかりやすい言葉でまとめています。朝会で児童には紹介していきます。また、保護者の皆様にもこの紙面をお借りして、ご確認いただきたいと思います。今後、学校運営協議会委員の皆様にご承認いただいた後、東西昇降口付近に掲示する予定です。

また、9月10日(木)には外部講師を招き、5・6年生を対象とした情報モラル教育の授業を実施しました。当日は、5・6年生の保護者の皆様にもご参観いただきました。

近年、子どもたちの情報端末活用能力は目覚ましく向上しています。その一方で、大人の目の届かないところでトラブルや事件に巻き込まれるケースも少なくありません。各ご家庭においても、利用のルールを決めたり、保護者の管理のもとで使用したりするなど、さまざまな工夫をされていることと思います。

授業の中では、海外で実施または検討されている未成年者のSNS利用制限について意見交換を行いました。本校の5・6年生からは、予想以上に「賛成」の意見が多く聞かれました。「トラブルになっている人が多いのだから、もっと学んでから使った方がよいと思う。」「連絡に使えると便利だと思うけれど、危険なことに巻き込まれたくないので、今は使えなくてもよいと思う。」「このような意見からも、子どもたちなりにSNSの危険性や適切に利用することの大切さについて理解を深めていることがうかがえました。

これからは、AIを学習や生活に活用していく時代になります。情報社会が急速に発展する中で、子どもたちには情報を正しく判断し、適切に活用する力がこれまで以上に求められています。学校においても、情報モラル教育の充実を図りながら、未来を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育んでまいります。私たちは今、時代の大きな転換期にいることを実感しています。

先生は子どもたちの未来を思い、
今、ある笑顔を全力で支えます。

素案

東希望が丘小学校 の

先生は
学校にかかわるすべての人が
あんしん・あんぜんに学校にいられるように
みんなで作ったルールを尊重します。

温かく安心できる学校づくりをしていきます。

- ・みなさんを大切にします。
- ・みなさんの話をよく聞きます。
- ・みなさんの安全を守ります。
- ・みなさんが笑顔で過ごす学校をつくります。

東希望が丘小学校の先生は、これを守ります。

先生は笑顔のために。
ひとりでも多く、見て見ぬふりはしない

横浜市教育委員会